



二葉幼稚園

園のたより

2022年



7月の聖句

しゅにおかって ころから ほめうたいなさい

エフェソ5:19

7月のさんびか

やまにはけわしい

こどもさんびか 46

あらわして



自分の愚かさや弱さを抱えながら明日への希望に気持ちを切り替える時、ふと心に浮かぶ祈りがあります。著者は不明ながらも、今なお、フランシスコの「平和の祈り」として紹介されています。

主よ、わたしを平和の器とならせてください。

憎しみがあるところに愛を  
争いがあるところに赦しを  
分裂があるところに一致を  
疑いのあるところに信仰を  
誤りがあるところに真理を  
絶望があるところに希望を  
闇あるところに光を  
悲しみあるところに喜びを

ああ、主よ、慰められるよりも慰める者としてください。

理解されるよりも理解する者に  
愛されるよりも愛する者に  
それは、わたしたちが、自ら与えることによって受け  
許すことによって赦され  
自分のからだをささげて死ぬことによって  
とこしえの命を得ることができるからです

毎日の門での挨拶が少しずつ慣れてきた年少さん。私が定位置にいないと、わざわざ探しに来る姿も見られます。遠くから兄弟揃っていつもにっこにこで登園する姿、友達同士で手を繋いで登降園する姿、小学校を前に遠くからでも歩いて登園する姿から、「あ〜今日も皆に会えて幸せだな〜」と元気を一杯頂いています。子育てが辛くなる時もあるかもしれませんが、子ども達は「闇を照らす光」、その存在だけで傍にいる人を幸せにできる「平和の器」。

6月、年長の誕生日感謝礼拝に出席しました。「4歳」や「5歳」になったばかりの子ども達は誕生日が来ると嬉しくて速攻！気持ちはひとつ跳びに「次6歳！」と毎年何人もが言う程、憧れの6歳です。保育室より広〜い礼拝堂。名前、年齢、夢、をインタビュー。誕生児の二人ともが礼拝堂に響き渡る声で堂々と答える姿に思わず目頭が熱くなりました。友達が気持ちを込めて賛美する♪まれるまえから♪が、また美しい声でじ〜んとし、「あ〜本当に生まれる前から神さまに守られてきたんだね。生まれて今日までみんなから愛されてきたんだね。」そんな喜びを全員で共感できる一時でした。5月の先生達からのお楽しみはパネルシアター。6月は猛特訓？したミュージックベルとトーンチャイムの生演奏。演奏者はその名も☆ジャバラ〜ズ!?☆年齢不詳3人プラス1が怪しい蛇腹折の大きな画用紙リボンをつけて登場。子ども達の表情がみるみる笑顔に。「ジャバラ〜ズって、蛇腹折やからやる?」す、鋭い初演でどうやら心を掴んだようで「ジャバラ〜ズに入りた〜い」と入会?希望者が続出したとか??毎月、何が出るかお楽しみに!

防災訓練の時、非常時用飲料水「ミライズ」をキャップ1杯ずつ紙コップに入れて飲みました。少量でも目をつむって口に入れ大切に味わうと「メッチャ甘かってん!」とお母さんにも話したという年中さん。500ml1本でもキャップ1杯ずつ34人で分け合うと、不安な気持ちも落ち着き、連帯感も生まれ、「甘く」「特別」な潤い体験が何度かできたのです。泥んこ遊びもダイナミックに遊べるようになり、心弾ませて大きなあれ!

年少さんは造形遊びを楽しみました。3歳児の沢山と言えば「5個」「10個」。ところが8000個!!の紙コップと出会い、瞳はキラキラ!大歓声をあげて思い思いに積み上げる、並べる、音を楽しむ、長く合体した物をホースに見立てカー一杯振るとコップが水のように飛び散ると発見!橋、道路、車や電車、家、トンネルに見立てるなど。汗だくで誰もが笑顔の1時間半!皆思いをあらわして、ご一緒に心踊る日々を!【園長】